

令和5年度学校評価報告書

今年度当初に提示した学校経営案をもとに、本年の教育・保育状況について、教職員及び保護者アンケートを実施しました。そのアンケートの結果を報告するとともに、改善が必要な事項については、検討を重ね次年度の学校経営案に反映していく所存です。ご質問等がございましたら、園までお尋ねください。

令和5年12月20日

令和5年度学校経営方針	1
I.保護者・教職員アンケートの集計結果から	2
II.評価項目の取組・達成状況	3.4
III.総合的な評価	5
IV.関係者評価委員・理事・評議員・監査の方々からのご意見	6



きよた幼稚園

KIYOTA YOUCHIEN

令和5年度きよた幼稚園の教育

○ 幼児の健全な発育に貢献する ○ 地域の教育・文化に寄与する
初代理事長岡武夫が本園創立の際に定めた開設の理念です

建学の精神

教育目標

幼稚園創立以来の教育目標です

ゆたかな心づくり

やさしく思いやりがある
心豊かな子ども

あたたかな仲間づくり

みんなと生活すること
を通して協力できる子ども

たくましい体づくり

あきらめずに取り組む
たくましく健康な体の子ども

目指す子どもの姿

温かな人間関係の輪を広げ遊びを通して
「知」「徳」「体」の総合的な成長を
促していきたい

のびのびと
あそび、まなぶ



経営の重点

教育目標、目指す子どもの姿を
具体化するために、今年度力
を入れることです。

継承と創造

変わらぬよさと変わる素晴らしさ

《伝統とよさ》を大切に ○あたたかな雰囲気の中で、
のびのびと遊び学ぶ幼稚園

《新しい時代に向けた創造的な保育》を目指す

個に応じた教育の充実

- 園児一人ひとりを大切に
し、のびのび活動できる
幼稚園
- 個に応じた指導や支援の
充実

魅力ある教育の創造

- 幼児の発達段階、特性や
思いを捉え「のびのび
とあそび、まなぶ」を具
現化する保育実践を行う
幼稚園

安心・安全な教育環境

- 園周辺の豊かな自然を生
かし、安全で教育環境の
整った園づくりに努める
幼稚園
- 安全な環境づくりの推進

地域連携と情報発信

- 園幼稚園・家庭・地域と
連携を深め、地域から信
頼される園づくりに努め
る幼稚園
- 情報発信・学校評価の充実

働き方改革の推進

- 園教職員が互いに尊重し
合い、意欲的に仕事がで
きる園づくりに努める幼
稚園
- 働き方改革の推進

教職員としての心構えです

好意に満ちた言葉がけ

素早く誠意をもって対応

情報の共有と合意形成

目配り・気配り・心配り

行動指針

教職員の行動指針です

子どもの命と人権を守る

子どもたち一人一人がかげがえのない存在

学校評価は、この学校経営案の
「教育目標」・「目指す子どもの姿」
「経営の重点」の達成について
回答を求めました。

1. 保護者・教職員アンケートの集計結果から

教育目標	登園を楽しみにしている 保護者	51.4%	43.6%	5.0%	
	豊かな心づくり 教職員	45.0%	55.0%		
	たくましい体づくり 教職員	36.0%	61.0%	3.0%	
	あたた仲間 教職員	39.0%	58.0%	3.0%	
目指す 子どもの姿	のびのび遊びまなぶ 保護者	50.7%	47.1%	2.1%	
	のびのび遊びまなぶ 教職員	33.0%	61.0%	6.0%	
経営の重点 1	個に応じた教育 保護者	77.1%	21.4%	1.4%	
	個に応じた教育 教職員	42.0%	55.0%	3.0%	
経営の重点 2	魅力ある教育 保護者	72.1%	24.3%	3.6%	
	魅力ある教育 教職員	36.0%	64.0%		
経営の重点 3	安心・安全 保護者	80.0%	19.3%	0.7%	
	安心・安全 教職員	45.0%	55.0%		
経営の重点 4	地域連携・情報 保護者	75.7%	24.3%		
	地域連携・情報 教職員	45.0%	55.0%		
経営の重点 5	働き方改革 教職員	27.0%	64.0%	6.0%	3.0%



II. 評価項目の取組・達成状況

全ての項目でA+Bが90%を超えており、評価（総合的な評価）は[A]としました。

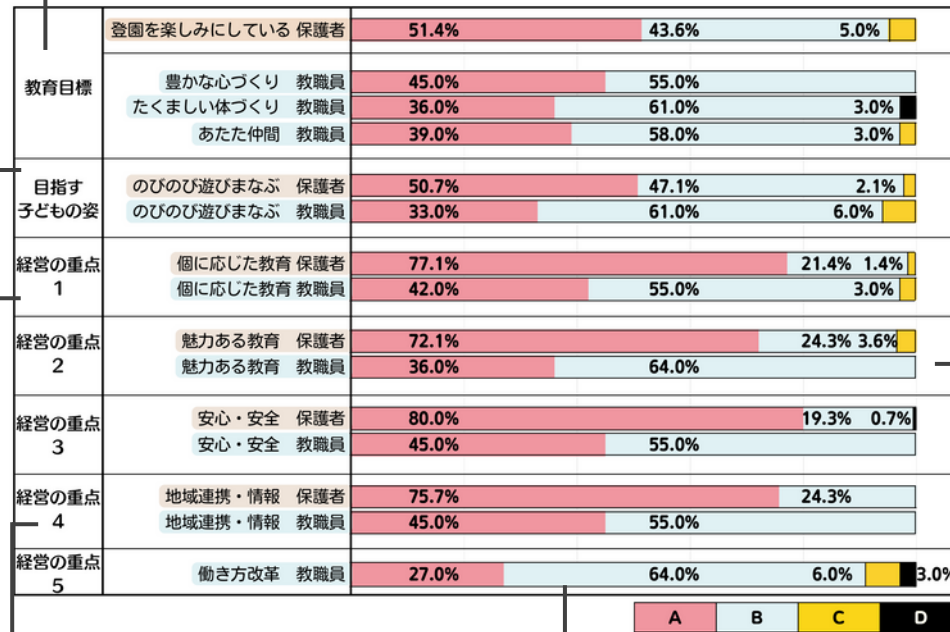
学校教育目標	保護者に対しては「お子様は幼稚園に行くことを楽しみにしていますか」という質問で回答を求めた	評価	成果と課題
豊かな心づくり たくましい体づくり あたたかな仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> やさしく思いやりのある子 あきらめずに取り組むたくましく健康な体の子 みんなと活動することを通して協力できる子 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○喜んで登園している子が多いようである。 ○保育者の子どもへの関わり方や異年齢の交流で、優しく思いやりのある姿が見られた。また日常の遊び、設定保育、スポーツ教室の中で、体を十分に使い体づくりが進められてきている。 ○子ども同士が話し合う場を多くもつことで、協力して活動する機会が増え、仲間づくりが進められている。 ×子どもたちの成長を促す環境構成で、さらに考察が必要である。 ×一部、個に応じた保育ができていないとの指摘がありました。情報を共有し、より一層研修を充実させることが必要である。

目指す子どもの姿	評価
「目指す子どもの姿の具体化」に努めることで、「知」「徳」「体」の調和の取れた発達を促すことができたか。	A
成果と課題	
○より子どもの思いや考えに寄り添う保育実践に努めたことにより、のびのびと元気に遊びながら様々な経験を通して学ぶ姿が見られた。	

経営の重点1	評価
《個に応じた教育の充実》園児一人一人を大切に、個に応じた指導や支援ができたか。	A
成果と課題	
○教職員が園児理解に努めるとともに情報を共有して、園児一人一人の個別最適な保育を実施できている。また、その点を多くの保護者の方も評価している。 ×一部ケガの見落としなどの指摘がありました。	

経営の重点4	評価
《地域連携と情報発信》家庭・地域への情報発信と連携はできたか	A

1. 保護者・教職員アンケートの集計結果から



経営の重点2	評価
《魅力ある教育の創造》発達段階・特性を見通した計画的で楽しい保育実践ができたか	A
成果と課題	
○より子どもの思いや考えに寄り添う保育実践に努め、日常の保育を工夫したり、遠足などの行き先を変更したりすることで、保育内容がより充実し、子どもたちも喜んでいようである。	

経営の重点3	評価
《安心・安全な教育環境》災害や事件・事故、感染症の予防などに対して、安全な環境づくりに取り組んでいるか	A
成果と課題	
○教職員の安全意識が高く、安全な環境整備に努めている。今後も危機管理意識を高めより安全な教育環境整備に努めなければならない。	

経営の重点	評価	成果と課題（教職員のみ）
《働き方改革の推進》互いに尊重し合い意欲的に仕事ができる園づくり働き方改革は進んだか	A	<ul style="list-style-type: none"> ○年休を取得できるようになってきた点は、働き方改革の成果として考えられる。 ×依然として他園と比較して退勤時刻が遅くさらなる業務の改善が求められる。

	《保護者アンケート》	《教職員アンケート》
よいところ	<ul style="list-style-type: none"> ・担任はもちろん担任以外の教職員も園児の名前を覚えたり連携したりして、個々に応じた保育を行い、子どもたちとの信頼関係がある。 ・子どもたちや保護者が困った際に、親身に対応している。 ・教職員が明るく子どもに挨拶したり、接している。 ・保護者へ電話やドキュメンテーションなどで、迅速に様々な情報提供をしている。 ・自然環境の豊かさと季節ごとの遊びや学びの機会がある。 	<p>【自然環境と広い園庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に恵まれ、四季を感じながら遊べる。 ・お山遊びは他園にない遊びを経験できる。 <p>【多様性の尊重】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な教職員や園児が集い、かつその多様性が尊重されている。 <p>【人のつながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の信頼関係、保護者との連携・コミュニケーションが良好 <p>【教職員の改善意欲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいアイディアを取り入れ、改善点を探求し、子どもたちのために幼稚園をよりよくしようとする意欲
よくしたいところ・改善点	<p>【幼稚園に行くことを楽しみにしていますか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部保育者が一人一人の成長に合わせた保育ができていない <p>【のびのびとあそび、まなぶ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの時間の増加 ・一人遊びについて <p>【個に応じた教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満3歳児の保育者増員について ・保護者への連絡について ・保育中の見落としについて <p>【魅力ある教育の創造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育計画のお知らせについて <p>【安心・安全な教育環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関での衝突について ・感染症流行の情報提供について <p>【地域連携・情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンテーションの発行頻度の差について ・手書きのお便りの発行について <p>【よくしたいところ・改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語、ひらがななどに触れる機会 ・保育がゆったり、1年生になって大丈夫？ ・駐輪場の設置について ・エアコンの使用について ・防犯対策について ・保護者から幼稚園への電話以外の連絡方法について ・行事の天候による実施の可否判断について ・発表会の配役の決定方法について ・運動会の開催について ・運動会の内容について ・年長児のお泊まり会の開催について ・行事等の観覧者数の制限について ・年少児の「きらきらいむ」の周知について ・「観劇代金」の徴収について ・いちごぐみの教室移動について ・写真販売について ・どろんこ遊びについて ・自由遊びや給食について ・毎日の保育活動のお知らせについて ・駐車場の舗装について ・個に応じた保育について ・園と保護者との連携協力について 	<p>【教育・保育に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指す子どもの姿を具現化するための教育・保育のあり方の研究・研修の推進 ・子どもの思いを汲み取る保育実践 ・安全管理と保育・教育のバランス ・子どもが遊び込めるゆったりした保育 ・片付けられる子どもを育てる <p>【安全・安心に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの怪我を減らすための工夫 <p>【働き方改革】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退勤時刻を早くする工夫 ・業務の精選 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方の個性や思いをより表出し新しいことに挑戦できる雰囲気醸成
	<p>【よいところについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、教職員から寄せられた「よいところ」を絶やさぬようにするとともに、新たな良さを創出できるよう努めて参ります <p>【よくしたいところ・改善点について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆様から寄せられたご意見に関しましては、幼稚園としての見解を示すとともに、改善すべき事項については、これからの幼稚園経営・教育保育活動に活かしていきます。 ・教職員アンケートの意見については、今後職員で検討を深め、幼稚園経営・教育保育活動に活かしていきます。 <p>*保護者・教職員からの回答の詳細、幼稚園の見解は、それぞれの詳細版をご覧ください。</p>	

Ⅲ. 総合的な評価

概ね良好である。しかし、明らかになった課題には適切な対応の検討を行う。

○学校評価の結果から、本園の幼稚園経営・保育教育は概ね良好な状況であると考えられる

- 本園では、教育目標の具体化のために子どもたちが「のびのびとあそび、まなぶ」とし、より子どもたちの思いに寄り添った教育保育の充実に努めてきた。
- その結果、先生方の子ども一人一人に寄り添う姿勢、言動が子どもたちの成長によい影響をもたらしてきている。
- また、子どもたち同士の話す機会を設け、その中から子どもたちの意見や思い、考えを汲み取った実践を行う機会が増えたことで、子どもたちの幼稚園への満足度が高まったり、子どもたち同士の輪が広がってきている。
- このような状況を、園だより『のびのび』やドキュメンテーション、Instagram、また担任等からの保護者への連絡電話等で伝えることにより、保護者との連携・信頼関係もできてきている。
- 保護者・地域との連携においては、コロナ禍も明け「厚別川の会」「厚別神社」「高齢者施設さんぽみち」「区民センターフリールーム」などとの連携・交流が増えたことや「のびのび夏祭り」「のびのびART DAY」など、在園児と保護者、卒園児、地域の方々との交流の場ができたことで、「地域・社会に開かれた幼稚園」としての今後のあり方に方向性をもつことができた。

○学校評価で明らかになった課題には適切な対応を行う

- きよた幼稚園の教育目標・目指す子どもの姿・経営の重点等の職員の理解の推進と保護者、地域へのより一層の啓発
- ※ 『きよた幼稚園の教職員は、「子どもの命と人権を守ることを」を行動指針とし、子ども一人一人の思いを大切にのびのびと遊ぶことを中心に保育を行い、小学校以降の学びの土台を育む』という点
- 安全・安心な教育環境整備に関しては、防犯対策、怪我、保育中の見落とし（保育者の気付かない小さな怪我）など、大事には至っていないが今後より慎重な対応が必要である。
- 「一部保育者が、子どもの発達段階や個性に応じた支援や声かけができていない」という指摘がありました。研修を深めより個々の園児に応じた保育の充実に努めていかなければならない。
- 教職員の働き方については、徐々に改善が進んできているが、依然業務の精選が進まず、退勤時刻が遅くなっている。教職員が健康的な生活を過ごすことが、子どもたちへの「よい教育・保育につながる」という意識をもって、より一層働き方改革を推進していかなければならない。

Ⅳ. 関係者評価委員・理事・評議員・監査の方々からのご意見

12月12日（金）に、学校関係者評価委員ときよた幼稚園理事・評議員の方々に、学校評価報告書・教職員アンケート詳細版・保護者アンケート詳細版の報告をし、設問及びA～Dの評定、評価のまとめの妥当性の検討とその他のご意見をいただきました。
いただいたご意見やご指摘を今後の学校評価の在り方、学校経営に反映するよう努めてまいります。

《学校関係者評価委員》
・猪野毛 昭男 様（清田町内会会長）
・稲上 敏男 様（清田小学校長）
《理事》
・水上 悟 様
・三橋 國昭 様
《評議員》
・長橋 扶史子 様・杉岡 洋子 様
・小林 昌代 様
・後藤 進 様
・坂下 昭夫 様

《設問及びA～Dの評定、評価のまとめの妥当性について》

多くの委員から妥当であるというご意見をいただきました。

ただし、一部委員から以下の指摘があり、今後の学校評価を実施する際に留意する必要がある。

- 設問の項目をもう少し精選する必要がある
- アンケートに答える際の教職員や保護者のA,B,C,Dの評価の基準（評価の指標）を示すことが必要
- 評定（総合的な評価）の際に、アンケート集計後に（A+B >90%⇒「A」）をしているが、年度の重点等を決定した際に、その項目の評定基準（例：働き方改革の推進⇒「職員の80%がA」を評定基準として設定）を明確にすることが必要

《委員の皆様のご意見から》

学校関係者評価委員 清田小学校 校長 稲上 敏男 様

- きよた幼稚園は、しっかりと教育目標をたて、子どもたちのより良い成長を考え、新たな挑戦をしながら教育活動を進めていると感じます。また、先生方の温かいかわりによって、子どもたちが安心して園に通えているだけでなく、心も育っているのだと思います。
- 幼稚園は、遊びを通して学ぶことが大切だと思います。遊びの中で、うまくいかないことを経験したり、友達のことを考えた言動ができるようになったりすることは、日本人として育っていく上で、極めて重要なことです。遊びを通して、どんな学びをしていくのかを先生方が共有して、しっかりと保護者へ伝えていってほしいと思います。

評議員 杉岡 洋子 様

- 丁寧に細分化され、分析されていると感じました。このようなまとめ方をすることで、これから先のやるべきこと、やれること、やりたいこと（must、can、want）につながると感じます。とても好感をもちました。
- 孫がきよた幼稚園にお世話になっており、娘から「幼稚園のありがたさ」などを話の中でいつも聞いています。また、地域のボランティアとして他の保育園や幼稚園の実情も伺っています。そのような中で、きよた幼稚園の様々な取組、そして実際の対応の仕方など、地に足のついた保育の姿勢に感服しております。これからも今のような情熱あふれる保育のまま進まれてください。

評議員 長橋 扶史子 様

- 今の子どもたちは、やってもらえることが当たり前と考える子が多いと思える中、きよた幼稚園の取組を聞いていると、本当に子どもたちが個々に成長していけるよう努力していると思ひ、頭が下がります。

評議員 小林 昌代 様

- 資料を作るのも大変だったと思いますが、会に参加して資料を見るのは分かりづらかったです。事前に配付して、見るのであれば良かったと思います。

評議員 後藤 進 様

- 達成評価の評定基準を定め、評定の良くない項目に対し、是正に取り組んではどうか。

評議員 坂下 昭夫 様

- 教職員の帰宅時間が遅くなる問題の解消には、職員の時間差勤務などの活用も検討できるのではないか。